

地球のステージ 3

～国境なき大地～



企画・出演 **桑山紀彦** (作詞・作曲・映像制作・ボーカル・ギター・バイオリン)

昨年度、大好評を得た「地球のステージ」第1部・第2部に引き続き、第3部が逗子にやってきます！ パレスチナ、ソマリア、東ティモール……。

厳しい状況におかれた中でも輝いている子どもたちの笑顔に会いに来ませんか？

* 第1部、第2部をご覧になっていない方もお楽しみいただけます。

12/9 水

開演15:00 (開場14:30) — 入場無料 —

 逗子文化プラザなぎさホール

逗子市役所5階教育委員会・市民交流センター及び文化プラザホールにおいて整理券を配布します。
お電話での整理券お取り置きも承ります。

* 車椅子席・手話通訳をご希望の方はお申し出下さい。

〈申込・問合せ〉

046-873-1111 (代) 社会教育課または市民協働課

■主催：逗子市教育委員会 / 逗子市 / 逗子市人権擁護委員会

大好評につき、第3弾開催決定!

地球のステージ

昨年の公演にたくさんの感動の
メッセージが寄せられました。

- 今言葉にまとめることはできないのですが、たくさんの思いが心の中にあふれています。本当の幸せって何だろう、豊かさって何だろうって考えさせられます。一見平和な日本、心の豊かさは?心の中の平和は?世界各国の様子、子どもの笑顔、瞳の輝きの強さ。また見せてください。何度も見せて聴かせていただき、自分の心を見つめ直したいです。(40代女性)
- 感動しました。人と人のつながりの大切さを身にしみて感じました。(70代男性)
- 世の中には世界のことを考えて活動している人がいるのを感じ入りました。(50代女性)
- 途上国や被災地でも強く生きている人々の映像は非常にインパクトがありました。日本人に欠けている生きる力を感じました。(40代女性)
- 同じ命をもらって自分も誕生したけれど、世界には色々な命の感じ方があるのを知りました。笑顔が素晴らしかったです。自分も笑顔を持ち続けます。(20代女性)
- ぼくになにができるかわからないけれど、できることがあったらどんなことでもしてみたい。(10代男性)
- いかに日本が豊かで平和であるか改めて感じました。やさしい気持ちになりました。(60代女性)
- 「知る」ことの大切さを知りました。イデオロギーでなく、そこに生きて暮らしている人を知ることの大切さ。なかなか自分では外国へ行けません、これからも色々なことを伝えてほしいです。でも私たちよりもずっと良い顔をしているのは何故なのでしょう?(40代女性)
- どんな環境にあっても子どもたちの笑顔はキラキラしていました。(20代女性)
- 日本に住んでいる今現在の私たちはなんと贅沢をしているのだらうと思いました。戦争のない平和な時が一日も早く来ることを祈ります。心が痛いです。(50代女性)



地球のステージとは?

貧困、災害、紛争、戦争・・・、そして、その結果、身体にも心にも傷を負った人々。医師である桑山紀彦氏が、医療支援を通じて、こうした人々と向き合いながら、自らが体感してきたことを、音楽と映像、そして語りで組み上げる「映像と音楽のシンクロ」ステージです。「本当の豊かさって?」「生きる意味って?」心が揺さぶられる2時間です。



豆子文化プラザ
なぎさホール

〈案内図〉



企画・出演 桑山紀彦

(NPO法人地球のステージ代表理事)

日本で診療を行う一方、タイ-カンボジア国境の難民キャンプを皮切りに、湾岸戦争後のイラク、ソマリア、旧ユーゴスラビア、カンボジア、東ティモールなどで医療救援活動を行っている医師。現在も年に数回、東ティモールやパレスチナで医療救援活動を展開、地震等の緊急医療救援、被災者の心のケアにも携わっています。